

## 十文字学園女子大学で防衛講話実施

埼玉地本山野正志1等空佐は、平成30年12月13日、十文字学園女子大学（埼玉県新座市）において、約90名の学生に対し防衛講話を実施した。

当講話は「地域で学ぶ」という授業の一環で毎年実施しており、本部長は「日本の安全と自衛隊の役割について」というテーマで、陸海空自衛隊の概要や、女性自衛官の活躍推進について紹介した。学生は山野本部長の講話をメモをとりながら聴講し、国防の重要性や自衛隊の存在意義について理解を深めていた。

学生の中からは「予備自衛官補について興味がある」「将来自衛隊を受験したい」「卒業後の人生を考えるきっかけになった」などの声が聞かれた。

埼玉地方協力本朝霞地域事務所は、「今後も地域に密着した広報活動を実施するとともに、関係部隊等との連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げていく」としている。



## 採用予定者に対し部隊研修を実施

埼玉地本（本部長・山野1空佐）は11月13日、21日及び12月19日の3日間、陸上自衛隊高射学校（下志津駐屯地）、陸上自衛隊小平学校警務科部（小平駐屯地）及び東部方面通信群（朝霞駐屯地）の協力を得て、採用予定者9名に対する部隊研修を実施した。

今回の研修は採用予定者の入隊に対する疑問や不安を解消することが狙いとして、訓練見学や体験喫食、学校・部隊概要説明及び隊員との懇談が実施された。

特に、今年度入隊した隊員との懇談では、訓練の内容や隊内生活についての質問が多く飛び交い、参加者は「説明を聞き、生活の様子を知ることができて安心しました。」などと話していた。

埼玉地本は、「採用予定者が入隊への不安を少しでも払拭できるよう、今後も部隊研修等を積極的に行い、きめ細やかなフォローを継続していく」としている。

